

個人質問



安田 吉宏 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 新型コロナウイルス感染症の発生が確認された場合は？

A 市民の生命と健康を守ることを最優先に考える

Q 本市の施設において、新型コロナウイルス感染症の発生が確認された場合、どのように対応するのか？

A 総務部長 公共施設において感染者が確認された場合は、直ちに当該施設を閉鎖した後、まずは利用者への周知を行い、消毒作業の手配、職員の体調管理など迅速に対応する。感染者

が確認されていない他の施設を閉鎖するかなど、その後の感染防止対策については、感染状況などを踏まえ、尾張旭市新型コロナウイルス感染症対策本部会議において判断していく。緊急事態宣言が解除され、感染拡大の抑止と社会経済活動の維持を両立するステージとなっているが、市民の皆様の生命と健康を守ることを最優先に考え、慎重に判断する。

Q 体育施設を利用する際のクラスター対策は？

A 感染防止のためにチェックリストを作成し、利用者に遵守させる

Q 体育施設を利用する際のクラスター対策は？

A 教育部長 令和2年5月14

日付けでスポーツ庁が策定した「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」の感染防止策チェックリストに沿った内容について、施設管理者や利用者に遵守することを求める。具体的には、

- ・消毒液の用意、マスクの着用
 - ・体調がよくない方の利用を控えること
 - ・人と人との距離をできるだけ確保すること
 - ・大声での会話や応援を控えること
 - ・タオルや飲み物を共用しないこと
- などが挙げられる。

利用者に対してこのチェックリストを配付するほか、体育施設の目に触れやすい場所での掲示を行い啓発に努める。



谷口 武司 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 尾張旭市の理想とする人口構造の形を持つべきでは？

A どのような人口構造となっても安定した日常生活が送れるまちづくりを目指す

Q 理想とする人口構造について伺う。

A 企画部長 理想とする人口構造は持ち合わせていない。

Q 理想とする人口計画の決定について伺う。

A それぞれの計画を策定する際には、「市総合計画」を基準に、市民や有識者の意見を踏ま

え決定する。今後予定している「第六次総合計画」の策定の際には、関係する皆様と、慎重に検討する。

Q 人口増加に向けた積極的な取組、空き家等の情報活用について

A 本年度から策定を進める立地適正化計画の検討段階において適宜活用する

Q 新居城址石碑設置検討について伺う

A 石碑設置予定はないが、南側駐車場からの上り口に簡易な看板の設置を検討する

Q 新居城址について伺う。

A 教育部長 室町時代の城跡で、土塁の一部が現存する。

Q 城山古窯群の歴史的価値について伺う。

A 5世紀後半の須恵器窯で、5世紀の窯跡が多く見つからないことから、出土品が尾張地域における5世紀後半の基準となる資料になっている。

Q 文化財のフィールドワーク教育への活用について伺う。

A 学芸員と学校との連携を深め、資料作成や相談など、可能な範囲で進める。

Q 新居城の堀跡と土塁の文化財指定について伺う。

A 新居城はまだ全体像がつかめていないために、今後の調査により検討が必要。

Q 今後の発掘調査予定は？

A 文化スポーツ課長 埋蔵文化財包蔵地の調査は、何らかの土地形状の変更時に行われる。

個人質問



秋田さとし 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 小中学校の学習遅延への対応について伺う

夏季休業日を短縮する。
A 冬季休業の短縮も検討している

Q 体育、音楽の授業時の対応について伺う。

A 教育長 体育の実技については、可能な限り屋外で実施。水泳の授業は今年度中止。音楽の実技は、歌唱や楽器の使用を控え、人がいる方向に口が向かないように指導している。

Q 給食時の対応について伺う。

A 向かい合う席の配置を避け、前向きの席のまま会食、個

包装のメニューを増やすなど、献立の工夫もしている。

Q 部活動の対応について伺う。

A 市独自の大会や発表の場を設けることも検討し、児童生徒の気持ちに寄り添った活動に努める。

Q 今後の行事の対応について伺う。

A 1学期に予定していた中学校の修学旅行、小中学校の野外活動は、2学期に延期、運動会や校外学習についても日程や内容の変更等について検討が必要である。

Q 今後の情報発信の在り方について伺う

A 正確な情報を分かりやすく伝える、迅速性を意識しながら情報発信をする

Q 今回の新型コロナウイルス

に関する情報発信について伺う。

A 企画部長 市の取組や、公共施設の利用制限、イベントの開催方針などの様々な情報を広報おわりあさひや市のホームページへの掲載、SNSなどでの配信、報道機関への情報提供など、複数の媒体を組み合わせで実施している。



あさひーLINE あさひーFacebook



あさひーTwitter

その他の質問項目

○第70回全国植樹祭後の森林公園の利活用について



櫻井 直樹 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 新型コロナウイルスの影響で、学校も臨時休校となった。再開の現状は？

A 感染拡大防止に努め、段階的に学校再開に向けた対応を進めた

Q 分散登校による学校再開について伺う。

A 教育長 全校児童生徒を二つのグループに分け分散登校を実施した。小学校は通学団ごとに、中学校は出席番号等でグループ編成した。

Q 分散登校時の授業は？

A 管理指導主事 同じ授業内容が履修できるように公平・平等性を配慮した。

Q 学校再開における子どもたちの心のケアは？

A 教育長 休業期間中は、スクールカウンセラーによる相談事業を実施した。再開後は、学級担任等を中心に児童生徒の状況を的確に把握し、スクールカウンセラー等による支援を行い、適切に対応していく。

Q 遅れた学習を取り戻すための対策は？

A 夏季休業日の短縮、式日の授業、行事の精選等により授業時間の確保に取り組んでいく。

Q 「子どもたちの主体的な学び」を支援したい！！

A 市立図書館は参考室を学習室として使用し、公民館は、図書室等で学習できるように支援している

Q 学校休業で、遅れた学習を取り戻すためには、子どもたち

の主体的な学習を広める必要がある。そのために、子どもたちに時間と場所を提供することが必要になる。そこで、授業後の学校図書館の開放について伺う。

A 教育部長 小学校は毎日20分放課と昼放課、中学校は昼放課に開館しており、小中学校とも、授業後には開館していない。

Q 市立図書館の臨時休館中の対応は？

A 電話受付による図書の貸出しサービスを行い、図書の受渡しを公民館などでも行った。

Q 市立図書館の学習室は、まさに主体的な学習の場である。学習環境を更に整備してほしいが、学習室環境の現状は？

A 学習室として使用している参考室には、2人掛けの長机が18本、座席数は36席あり、隣席との衝立を設置している。

個人質問



川村つよし 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 三郷駅周辺まちづくり事業は公共施設総合管理計画と整合性が取れるのか

A 施設の導入に当たり公共施設等総合管理計画の取組方針との整合を図っていく

Q 三郷駅周辺のまちづくり事業について、この間の調査費用の計上は、私も認めてきたが、実際にどれだけの費用を投入することになるのか、それを考えると、実施するのかどうかは判断が分かると考えている。2月に市から示された資料を見ると、公共施設を含んだ複合施設

を整備する計画。つまり、公共施設の延べ床面積の増加になる。公共施設等総合管理計画の考え方から言えば、どういう考えになるのか。

A 都市整備部長 三郷駅の駅前広場の整備だけでなく、市東部地域の拠点として、ふさわしい施設の導入を予定している。公共施設等総合管理計画の取組方針との整合を図っていく。

Q 権利床について地権者は理解されているか

A まちづくり協議会等の活動を通じて理解を深めていただいております、市もサポートしていく

Q 地権者は、整備後の駅ビル内に床面積の所有権を得ることになると思うが、数十年先の見通しとして、市が投入する財源

の大きさも心配だが、地権者にも危ない橋を渡らせることにならないか懸念している。権利床について、地権者の理解は十分されているのか。

A 都市整備部長 まちづくり協議会や準備組合の活動を通じて、権利床など市街地再開発事業の仕組みに関する理解を深めていただいている。現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響で会合が開かれていないが、再開後、改めて権利床や資金計画の検討など研究していく予定と聞いている。市も十分理解が深まるようサポートしていく。

その他の質問項目

- 公文書管理条例の制定について
- 公共交通の充実に向けて
- 子どもの権利条例の制定に向けて



市原 誠二 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 小中学校の欠席連絡などの連絡帳や電話による連絡負担の軽減について

A 欠席連絡など教員と保護者の負担軽減に向けてアプリの導入を研究する

Q 教員と保護者双方の事務負担軽減に向けた保護者アプリの導入について伺う。

A 教育部長 現在、保護者アプリ導入について研究している。

Q 早期に導入し、毎日発生する欠席連絡や個人懇談会等の日程調整などの事務負担軽減につなげないか？

A 保護者アプリの研究では、初めは「学校からの配布物の見

直し」を中心としていたが、今後は「欠席報告」など双方向のやり取りの負担軽減に向けて研究していく。



Q 矢田川堤防遊歩道の整備について

A 遊歩道の整備については、河川敷を利用した矢田川散歩道の整備を下流より順次進める

Q 西本地橋北交差点から狩宿橋交差点までの景観に配慮した堤防遊歩道の整備について伺う。

A 都市整備部長 矢田川の魅力を活用した遊歩道については、矢田川散歩道として下流より順次整備を進めている。一

方、指摘の区間は、沿道の住宅地などへの利便性を図るため、民地側に歩道を設置している。また、河川側は違法駐車防止対策のため、トラ柵やパイプで組まれた柵などを利用した簡易な防護柵を設置している。その簡易な防護柵は、腐食などの劣化が進み、一部で景観上望ましくない状況が見られる。今後は、限られた予算の中で、少しずつ改善に努めていきたい。



その他の質問項目

- 市役所業務継続に向けた感染症リスク対応について

個人質問



山下 幹雄 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 「尾張旭市のコロナ対策が見えない」という市民の声は届いているか

A 「尾張旭市の支援策が少ないのではないか」の不満の声も頂いた

Q 市民の声について伺う。

A 健康福祉部長 市民の声は、メールや電話、直接窓口など、様々な形で届いていた。感染症予防対策、小中学校の休業や中小企業への経済支援、特別定額給付金など、質問や相談のほかに、他市町の支援策等が先行して報道発表されたことにより「尾張旭市の支援策が少ない

のではないか」、「他市町のような支援を行ってほしい」などの不満の声も頂いた。本市支援策は、必要であると判断したものは補正予算を計上し各部署で対応しており、支援等が他市町より遅れたり劣っているとは考えていない。「特別定額給付金」についても、スピード感をもって対応をしており、現在、対象の約9割の世帯から申請を受け付け、6月中には振り込みを完了する予定。

Q 新型コロナウイルス感染症対策寄附金の現況は

A 5月末現在で約163万円の寄附を頂いた

Q 内訳と継続について伺う。

A 総務部長 直接、市窓口受付が141万円、寄附金用特設口

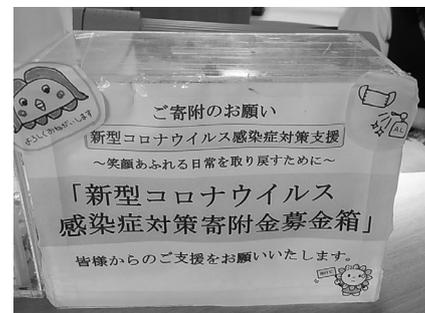
座への振り込みが約20万円、ふるさと納税ウェブサイトで2万円、総合案内の募金箱が3206円。対策が必要な間は、継続することとなる。

Q 税額控除について伺う。

A 個人の場合は、寄附金税額控除が、法人の場合は、損金算入が可能となる。

その他の質問項目

○公共施設利用等の行政サービスにおける電子申請及び決済について



市役所総合案内募金箱

花井 守行 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 給付金の申請が苦手な、しょうがい者やその家族の方への援助について

A 申請自体を断念している方の支援までは対応できていない

Q 緊急事態宣言中のしょうがい児の暮らしについて伺う。

A 健康福祉部長 児童発達支援は5割から6割程度利用を控える傾向があり、放課後等デイサービスは、学校の臨時休校に伴い、開所時間を早めサービス提供に対応したため、9割を超える利用があった。感染防止のため通所を自粛する児童も多く、電話や訪問により健康状態

を確認し、サービス代替支援をオンラインツールを用いて実施した。休校や外出自粛が長引く中で、家庭における不安やストレスが高まり心配される児童は、相談支援専門員を通じて関係機関につないだり、必要な情報提供を行った。

Q しょうがい者の暮らしについて伺う。

A 重度訪問介護、同行援護、就労定着支援の利用は2割から3割程度減少した。その他のサービスは、利用実績全体から見ると大きな変化は見られなかった。各事業所からは、マスクの装着を拒否したり手洗いが困難など、障がい特性から感染防止を徹底することが難しい方は、家族の意向で利用を控えられるケースもあったが、家族の負担軽減や支援者との関係が途切れないよう支援の継続に努め

たとの報告があった。

Q 市独自の危険手当などは支給されたか。

A 事業所の職員等に対する市独自の危険手当は支給していない。

Q 特別定額給付金の申請状況について、特にしょうがいのある方の一人暮らしや申請が苦手な家族の申請等の援助などについて伺う。

A 企画部長 申請書の作成や添付書類のコピーをお手伝いする等、できる限りの支援をしているが、現在は「給付の申請を希望する方」への支援に限られている。このため今後は、自立支援協議会の相談支援部会等と連携したり、6月中旬頃までには、給付金センター内に専用の相談窓口を設置したりするなど、支援体制を更に充実していく。

個人質問



片淵 卓三 議員



◀QRコード
(動画配信)

Q 避難所での「3密」対策について伺う

① 避難所の3密対策については、国や県などからの情報を参考に、検討する

Q 新型コロナウイルスの拡大の「第2波」が懸念される中、本格的な雨の季節となり、豪雨災害などが発生した場合の避難所運営が懸案に浮上している。従来の避難所は、ウイルスが拡大しやすい密集、密接、密閉の「3密」の条件がそろっているため、国は自治体に対策を促しているが、本市の具体的な避難所の「3密」対策について伺う。

① 総務部長 避難所を開設す

る際には、分散避難の周知や避難所の増設による密集防止、避難所の換気による密閉防止、十分なスペースの確保による密接防止を行う。さらには、感染が疑われる避難者の専用スペースを確保するなど、様々な感染防止対策を行う考えである。

Q 分散避難について伺う。

① 新型コロナウイルスの感染が危惧される中、自宅へとどまる在宅避難や、親戚・友人宅へ避難する方法も選択肢の一つになる。また、避難者を分散させるため、避難所の拡充についても検討を進めている。具体的には、風水害時では、指定された地区公民館に加え、感染の恐れある場合は状況に応じ、小中学校の体育館も活用する必要があると考える。また、地震災害においては、被災者の状況に応じ、指定避難所以外の公共施設

や、災害時の施設利用に関する協定等が締結した民間の施設など、より多くの避難所を確保していきたい。

Q 在宅避難についての詳細な周知内容について伺う。

① 災害対策監 食料、飲料水、簡易トイレセット、ガスコンロのボンベなど1週間分備蓄する旨、出前講座などにおいて、周知している。感染防止の観点から在宅避難の必要性がクローズアップされる中、今後は更に、広報誌やホームページなどでも周知をしていく考えである。

その他の質問項目

○「新しい生活様式」における熱中症予防について

議会日誌

●6月

- 1日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 令和2年第3回6月定例会
(初日)
- 12日 本会議 (一般質問)
都市環境委員会
- 15日 本会議 (一般質問)

- 16日 都市環境委員会行政調査
(市内)
- 19日 福祉文教委員会
- 22日 都市環境委員会
- 23日 総務委員会
- 25日 議会運営委員会
各派代表者会
- 26日 本会議
福祉文教委員会
都市環境委員会
総務委員会

●7月

- 3日 各派代表者会
- 7日 議会広報委員会
福祉文教委員会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 本会議
- 22日 議会運営委員会
- 28日 本会議
福祉文教委員会
都市環境委員会
総務委員会
- 29日 議会広報委員会

●質問通告書の公開

一般質問の内容をより知っていただくため、質問通告書をホームページで公開しています。

●閲覧方法 市議会ホームページからご覧いただけます。

(「一般質問」→「定例会名」→「質問者名」を選択)